

ご挨拶

ここに、第2回目の「環境報告書」を発行するにあたり、日頃の御礼もかねて、ご挨拶申し上げます。

来年からは、いよいよ「京都議定書」の実行年度がスタートいたします。

日本では、特に家庭やオフィスのCO₂削減が進んでいないことから、京都議定書で約束した削減数値の達成が困難ではないかと言われています。

政府、企業、家庭が一体となって取り組まなければ削減数値は達成できない状態と思われます。

6月にドイツで開催されました主要国首脳会議(サミット)の最重要議題は環境問題でありました。また、欧州では議定書の次を見据えた政策がスタートいたしました。日本では2050年における目標値を掲げはしましたが、削減義務達成における対策もいまだに明確でない状態が続いております。

私たちJPFグループは、1997年より現在の滋賀事業所(当時の滋賀工場)から本格的に環境保全問題に取り組み始め、年々グループ全体にその活動を広げております。

当社で開発する商品も、「環境配慮商品の拡大及び環境負荷の削減」をモットーに省エネ、省力化を基本とした商品作りを心がけております。

私たちの環境保全活動としての歩みは遅いかもわかりませんが、私たちに出来ることを着実にやり、これからも地球環境を守る為に努力を続けてまいります。

そして、お客様や社会とのコミュニケーションをはかるために、また企業の社会的責務を果たすために私たちの環境活動を発信していこうと思っております。

今後とも、当社グループへの一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。

2007年6月28日

日本パワーファスニング株式会社

代表取締役社長 土肥 雄治

環境方針

基本理念

“伸びやかで豊かな企業人を育む環境づくりを目指し、オリジナリティ溢れる技術をベースに製品を開発し、顧客の信頼を得るとともに、社会の発展に貢献する。”という企業理念に基づき、地球環境の保全が人類共通の最重要課題の一つであることを認識し、企業活動のあらゆる面で環境の保全に配慮して行動します。

基本方針

日本パワーファスニング株式会社(JPFグループ)は、基本理念に基づき次の活動を行います。

- 1 私たちの事業活動、製品やサービスが環境に与える影響を的確に捉え、環境配慮商品の拡大及び環境負荷の削減に努めます。
- 2 私たちは地球環境の保全を推進するため、技術的、経済的に可能な範囲で各部門毎に環境目的及び目標を定め、実行し、定期的に見直しを行い、継続的改善を推進します。
- 3 私たちは当社の環境側面に関連する法律、規則及び協定を順守すると共に環境事故の予防を進めることにより社会的責任を果たします。
- 4 私たちは地球と共生するため、環境教育及び啓発活動を実施し、当社の全従業員及びグループ会社に環境方針の理解と環境保全に関する意識の向上を図ると共に、関係委託業者、契約業者へも環境方針の理解と協力を求め、さらに社会貢献活動を推進し、地域との交流を図ります。

地域貢献活動

JPFグループでは、環境と地域貢献を考え、従業員が積極的に地域の環境活動に参加しています。

びわ湖清掃(5月~7月)



'06年の「びわ湖ごみゼロ大作戦」には過去最多の90名が参加いたしました。



クリーンおおさか2006(11月)



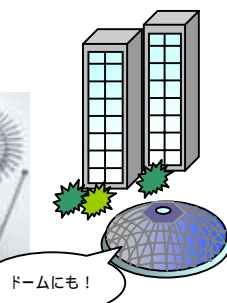
'04年から参加しております、本社地区での清掃活動です。'06年は2日に分けて、23人が参加いたしました。前年よりはごみが減少したと感じたものの、たばこの吸殻は変わらず多い印象を受けました。

JPFグループが製造している商品

住宅用金物、ねじ連続打込機
(プレハブ住宅向け)



ガスツール、その他建築用ピン、アンカー
(金属及びコンクリート建築向け)



座金、ばねなど
(自動車・家電など一般産業向け)



2007年 JPFグループ 環境報告書

2007年6月発行

【問い合わせ先】

日本パワーファスニング株式会社
経営企画部

TEL : (06) 6442 - 0059

FAX : (06) 6451 - 9941

URL : <http://www.jpf-net.co.jp>

会社概要及び対象組織

会社名 日本パワーファスニング株式会社

本社所在地 大阪市北区大淀中一丁目1-90

設立 昭和39年4月21日(登記上は昭和26年3月26日)

資本金 2,550百万円

連結売上高 8,673百万円(2006年12月期)

代表者 代表取締役社長 土肥 雄治

従業員数 単独:357名 連結:748名

事業内容 建築用ファスナー等の製造・販売

関連会社 近江ニスコ工業株式会社

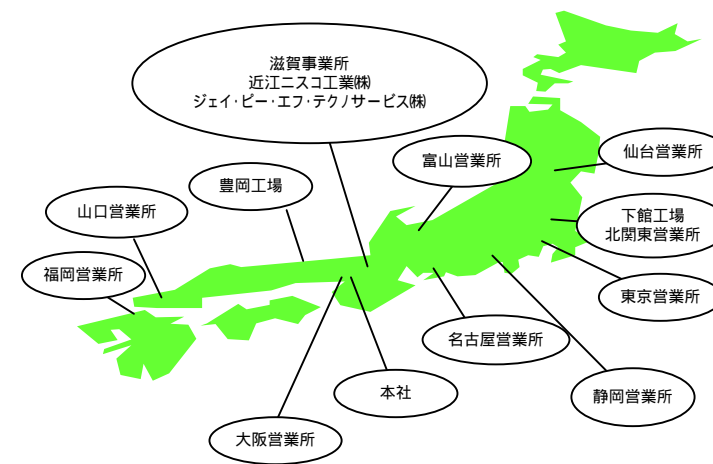
滋賀県野洲市六条1018-1

自動車・家電部品の製造・販売

ジェイ・ビー・エフ・テクノサービス株式会社

滋賀県野洲市六条1018-1

グループ会社の設備設計・製作



対象期間

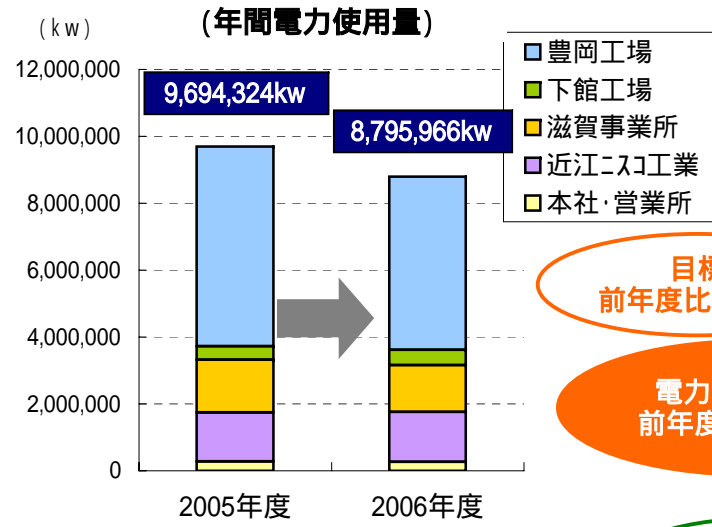
2006年4月~2007年3月



地球温暖化対策 - グループ全体の電力使用によるCO₂排出量 -

2006年度 電力使用量の現状

2005年度から集計を開始しましたグループ全体の電力使用量は、クールビズ等の省エネルギー活動や生産拠点の集約により前年度比**9.3%の898,358kwを削減**でき、目標を達成出来ました。

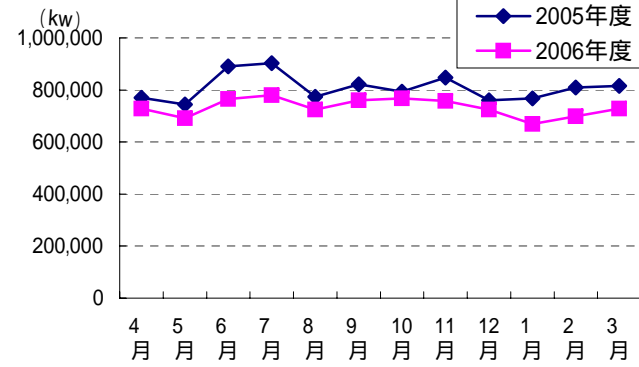


目標 前年度比2%減 達成!

電力使用量実績 前年度比9.3%減

CO₂排出量は約340ト減

月間電力使用量の推移



【杉の木1本の年間のCO₂吸収量...約14kg】
「省エネルギーセンター」調べ

法規制の順守状況

2006年度は、法規制並びに外部からの要求事項を含め、順守状況に問題はありませんでした。

また、社内向けに年3回発行する環境ニュースに当社の環境データや順守すべき法規制を載せることにより、法規制の周知と理解を広める活動をしております。



各地区の環境数値 - 廃棄量とリサイクル率 -

環境ISO14001を認証登録しております当社滋賀地区、近江ニスコ工業及び本社の数値と、「エコアクション21」を認証登録しております下館工場の数値は以下の通りです。当社主要工場の一つである豊岡工場は環境ISO認証登録を目指して活動中であります。

一般・産業廃棄物(トン)	2005年度	2006年度	前年度比
滋賀地区	1,468	1,389	5%減
近江ニスコ工業	2,131	2,561	20%増
下館工場	1	29.5	-
本社	2.66	2.52	5%減

注: この表は総廃棄物量の数値を示しております。

(一般・産業廃棄物・資源ゴミ(リサイクル)の総量)

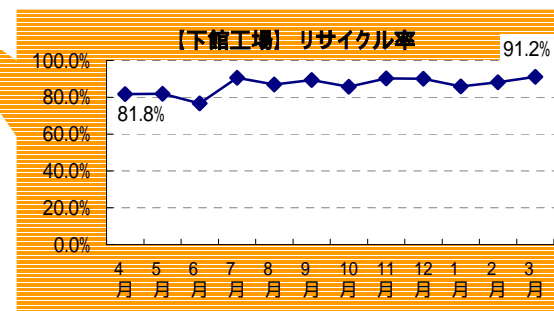
滋賀地区は中国への生産移管による生産量の低下に伴い鉄屑が減少したため廃棄物も減少いたしました。近江ニスコ工業は自動車部品の需要増加により生産量が増加したため廃棄物も増加いたしました。リサイクル率は滋賀地区、近江ニスコ工業とも99%以上を達成しております。

リサイクル率(%)	2005年度	2006年度
滋賀地区	99.3	99.0
近江ニスコ工業	99.4	99.5
下館工場	1	87.5
本社	86.2	87.2

下館工場の分別ステーション(2007年2月設置)



(1)下館工場は2005年の8月より廃棄物の数値記録を取り始めたため、前年度の数値は記載しておりません。2006年度は少しずつではありますが分別の意識が定着し、リサイクル率も初期に比べて上昇いたしました。また屋根付き廃棄物分別ステーションも設置し、2007年度は、より一層廃棄物の分別とリサイクルを定着させてまいります。



環境配慮型商品

ここでは、JPFグループの環境配慮商品を一通りで紹介いたします。この中でもモックスは環境配慮はもちろん、釘のように曲がるねじとして、多くの新聞や雑誌で採り上げられました。これからも環境に優しい商品を開発してまいります。

機能別	商品名	用途	環境対応
建築リサイクル法対応	モックス	木造用耐震ねじ(破断しにくいねじ)	分別解体可能
	タップスター	コンクリート用ねじ式アンカー	完全撤去可能
六価クロムフリー	サスガード(SG)処理品	高耐食性表面改質処理	環境対応型表面処理
	ジオメット処理品		
	三価クロメート処理品		
省エネ建築対応	パネリード	パネル工法用特殊木下地用ねじ	外断熱工法住宅
	MBシートテクス	薄鋼板下地用ねじ	断熱防水工法



また、豊岡工場では新たに「カチオン電着塗装」装置を導入いたしました。

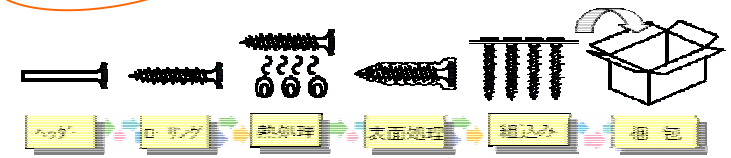
【特徴】
 高耐食性...防錆力に優れた塗膜が得られる
 安全性...鉛、クロム等の有害物質を含まない
 高品質...膜厚が安定し、均一レベルを維持できる

カチオン電着塗装を施したねじ

JPFグループの環境活動のあゆみ

年度	JPFグループの主な環境活動	主な関連法規と世界の動き
1997年	社長による環境活動キックオフ宣言	京都議定書採択 廃棄物処理法の改正 (マニフェスト制度の全面導入)
1998年		地球温暖化対策推進法施行
1999年		改正省エネルギー法施行 日本発の「エコファンド」発売
2000年	滋賀地区にて環境ISO14001・1996年版の認証取得	ダイオキシン類対策特別措置法施行 容器包装リサイクル法の全面施行
2001年	滋賀地区にて省エネ管理・省エネ管理開始 滋賀地区で紙再生業者への紙類持ち込み開始 滋賀地区にて充電式乾電池の使用開始	環境庁が「環境省」に格上げ 家電リサイクル法施行 循環型社会形成推進基本法制定 資源有効利用促進法施行
2002年	近江ニスコ工業でも環境ISO認証登録	日本が「京都議定書」を批准 建設リサイクル法施行
2003年	JPF、近江ニスコが「ごみゼロ大作戦」運動に参加 滋賀地区で廃プラのリサイクル化開始	土壌汚染対策法施行 改正省エネルギー法施行
2004年	JPF、近江ニスコが「びわこを美しくする運動」に参加 滋賀地区で「廃棄物管理システム機器」を導入 本社(梅田地区)でも環境ISO認証登録 滋賀地区で「びわ湖までの水路図」作成 中国現地法人「蘇州強力五金有限公司」にてISO14001認証取得 本社地区が「クリーンおおさか 2004」に参加	改正大気汚染防止法公布 自動車リサイクル法施行
2005年	滋賀地区で「安全靴の100%再資源化システム」を採用 ガスツールの廃バッテリー回収システム開始 本社事務所が「関西エコオフィス宣言」を大阪市に宣誓・登録 グループ全体で「クールビズ」スタート JPF、近江ニスコが「びわこを美しくする運動」に参加 ジェイ・ピー・エフ・テクノサービスも環境ISO認証登録 ISO14001・2004年版に移行 滋賀地区で「廃材によるプランタ作り」を開催 本社地区が「クリーンおおさか 2005」に参加 グループ全体で「ウォームビズ」スタート	「京都議定書」が発効 愛・地球博開催 環境配慮促進法施行 石綿による健康被害が社会問題化
2006年	ワークス下館工場で「エコアクション21」認証登録 JPF、近江ニスコが「びわこを美しくする運動」に参加 本社地区が「クリーンおおさか 2006」に参加	改正地球温暖化対策法、改正省エネルギー法施行 家電リサイクル法改正、食品リサイクル法改正 容器包装リサイクル法改正 アスベスト新法施行 欧州でRoHS指令スタート

ご存知ですか? ~ねじの製造工程~



簡単な工程図です。
熱処理はねじの強度を高めるため
表面処理は防錆性を高めるために
行います。